ビギナーの販売員様向け

三菱鉛筆お役立ち情報

《鉛筆・色鉛筆編》

この「お役立ち情報」は、弊社品を初めてお取り扱いになる販売員様へ向けたものです。

当編では、商品の基礎知識と、弊社ＨＰの「よくあるご質問」サイトへ多くアクセスをいただく情報について記します。

発行：2017年06月04日
改版：2026年05月18日
監修：三菱鉛筆株式会社 品質保証部

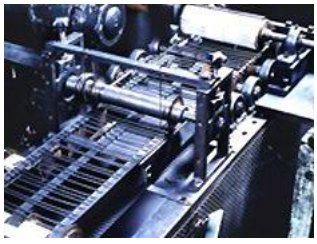
※ご説明のため、生産が終了した製品についても掲載しています。ご了承ください。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

芯(墨芯)の材料

■材料と製法

黒鉛と**粘土**を焼き固めて作ります。

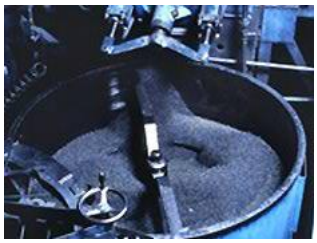


■シャープの芯との違い

0.5などのシャープの芯は、**粘土の代わり**に「**プラスチック**」を使い、細くても折れにくい強度にしています。

■黒鉛とは？

炭素からなる鉱物です。
ダイヤモンドや石炭もそうですが、
同じ炭素でも元素の並び方や繋がり方の
違いで、性質や外観が異なります。



■「鉛」を使わないのに「鉛筆」と呼ばれる理由は？

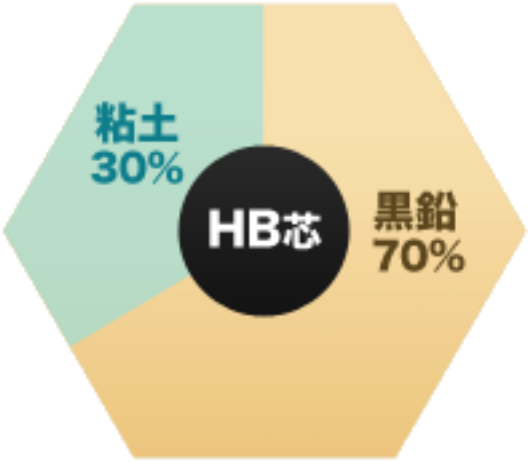
現在の鉛筆より「前のもの」は、鉛の棒「尖筆(せんぴつ)」でした。この鉛の棒は現在の鉛筆のように黒い跡は残せず、文字を真っ直ぐ書くために、あらかじめ薄く線を引く目的で用いられました。
この鉛の棒を"lead pencil"（鉛の筆）と呼ぶようになり、
呼び方と現在の鉛筆が一緒に輸入され「鉛筆」と訳されたのではないかと言われています。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

芯(墨芯)の硬度

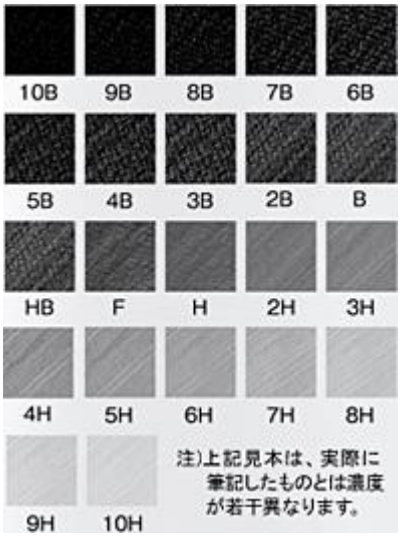
■芯の硬さの決め方

粘土と黒鉛の割合で決まります。
例えば、HBの場合、
黒鉛7に対し、粘土3です。
粘土の割合が多ければ多いほど、
芯は硬く、色は薄くなります。



■硬度の種類

Hi-uniでは、10Hから10Bまで
22種類があります。



■H、B、Fの意味

鉛筆に付いているこの記号は、
芯の濃さと硬さを表すものです。

H　：HARD（ハード：かたい）の略字
B　：BLACK（ブラック：黒い）の略字
F　：FIRM（ファーム：しっかりした）の略字

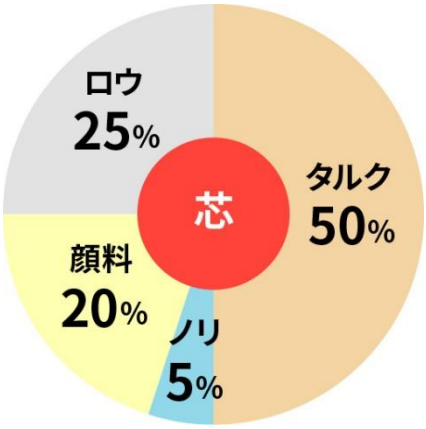
Hの数字が多いほど、薄く硬い芯を示し、反対に
Bの数字が多いほど、濃く柔らかい芯を示します。
Fは、HとHBの中間の濃さと硬さを持った芯です。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

色鉛筆の材料と硬度

■製法
鉛筆のように粘土は使わず、
主に次の材料を混ぜて、
焼かずに乾かして固めます。

■材料
・色を出すための顔料
・書き味のためのタルクやロウ
・固めるための糊　など。
※右の比率は、一例です。



■硬度
「**硬質・中硬質・軟質**」という硬度の種類があります。
鉛筆と表し方が異なるのは、材料と製法が異なるためです。
※総合カタログの「色鉛筆　比較表」をご覧ください。

あくまでも目安としてですが、芯の減り方に絞って比べると
　　硬質：鉛筆のＨＢからＢ相当
　中硬質：鉛筆の２Ｂから６Ｂ相当
　　軟質：鉛筆の８Ｂから１０Ｂ相当
　ユニホルダーの赤芯：Ｂ相当　　となります。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

代表的な商品・鉛筆

■ユニ

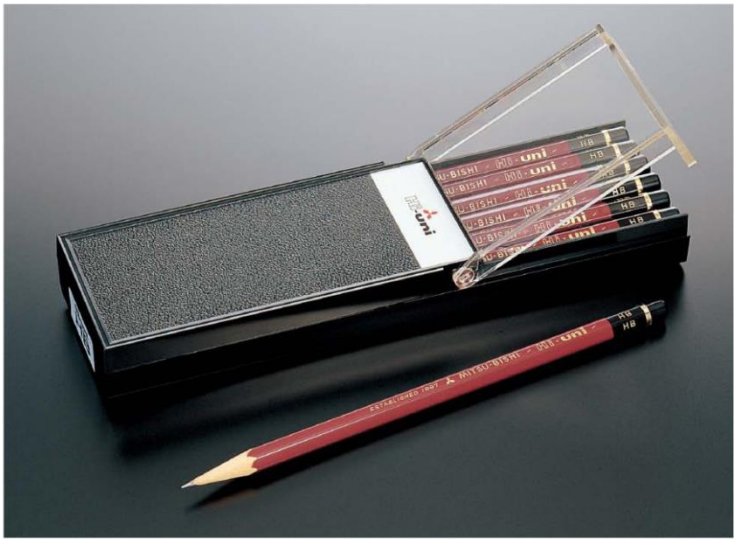
Bの黒さでHの硬さを目指したロングセラー商品

芯の材料を均質な微粒子にして、なめらかな書き味を実現しました。

■ハイユニ

黒く、きれいに書ける理想の芯を採用

大小の粒子を混合し、なめらかな書き味を追及した鉛筆です。
金のラインを軸に施し、デザインにも高級感を出しています。



Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

代表的な商品・鉛筆

■ヒッタト（Hittat!）

シンプルながらも個性豊かなデザインを提供し、子どもたちの勉強に楽しさをプラスする学童向け鉛筆の新ブランドです。

「Hittat」はスウェーデン語で「見つけた、発見した」を意味し、学びを通じて子どもたちが新しいことに出会う喜びを象徴しています。

「!」にはその瞬間の驚きと楽しさが込められており、子どもたちが日々の勉強を通じて新しい発見を楽しんでもらえることを目指しています。

■uni タブレット授業えんぴつ

タブレット等で撮影した時にも
テカりにくくキレイに撮影できます。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

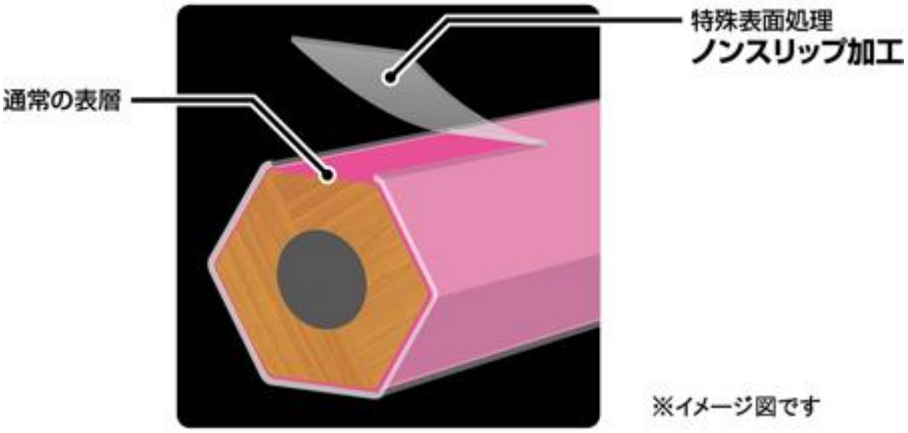
代表的な商品・鉛筆

■ナノダイヤ鉛筆

世界初！鉛筆芯にダイヤモンドを配合し、濃く、なめらかに
文字を書くことができます。入学児童向けです。

■グリッパー鉛筆

すべりにくく、しっかり持てるグリップを採用した鉛筆です。
筆圧の安定しない児童でも、しっかりと持つことができます。



Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

代表的な商品・色鉛筆

■ユニカラー

クリアな色調、均質な着色、
ほどよい硬度を持つ、
アートワークに最適な
プロ仕様色鉛筆です。

■ユニ ウォーターカラー

水で溶かして水彩タッチが
楽しめる水彩色鉛筆です。

■ユニ アーテレーズカラー

紙を傷めることなく、余分な
箇所を修正したり、軽く消した
上に色を塗ったりすることが
できます。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

代表的な商品・色鉛筆

■トイロノ（toirono）

太くやわらかい芯を採用することによって、従来の色鉛筆よりも濃淡やグラデーション、重ね塗りがしやすく、濃い色の上からでも発色よく描けるように設計されています。

※2017年に製造が終了した
　ペリシア（Pericia）同じ芯です。

■学習･丸付け用 えんぴつ

- 転がりにくく、正しい持ち方が学びやすい六角軸。
- 芯色は、伝統的に用いられてきた朱（Vermilion）よりも描線が濃く視認性に優れた 赤（Red）を用いています。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

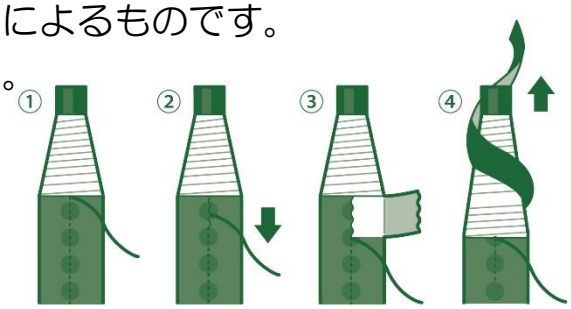
代表的な商品・色鉛筆(軟質)

■ダーマトグラフ

ガラス、金属、プラスチックなどへ自由に描ける特殊芯を使っています。油性(7600)と水性(7610)があり、水性は水で消せます。

一般的な鉛筆や色鉛筆は芯を木に接着していますが、ダーマトグラフは芯を紙で巻いています。これは、次の芯の特性によるものです。

- ワックスが多く含まれ接着剤が効かないため。
- 温度変化による収縮や膨張が大きいため。



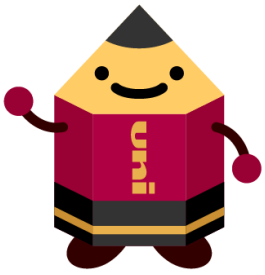
■ポンキーペンシル

特殊な丈夫巻（紙ロール加工）を芯に施しているので、筆圧の強いお子様が思いっきり描いても折れにくい強度を実現しました。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

FAQ　軸の形が違う理由

■6角形の理由



鉛筆に6角形が多いのは、
転がらないため、また、
持ちやすいためです。
文字を書くために鉛筆を持つ場合は、
親指、人差し指、中指の**3点で押さえるため**、
3の倍数の必要があります。

■３角形の理由

持ち方のくせの矯正に役立ち、
くせの発生を防ぎます。

■色鉛筆に丸軸が多い理由

色鉛筆は、絵を描くために
色々な持ち方をして使いますので、
指あたりのよい丸軸にしています。

かつては、色鉛筆の芯は墨芯鉛筆のように焼いていないため、
また、強度的に弱く芯が太いため、軸が6角形では芯と軸の
表面との距離に長短の差が出て、芯を十分に保護することが
できないと言われていました。
しかし、現在は技術の進歩により、6角形の軸でも、芯を十分
に保護できるようになっています。

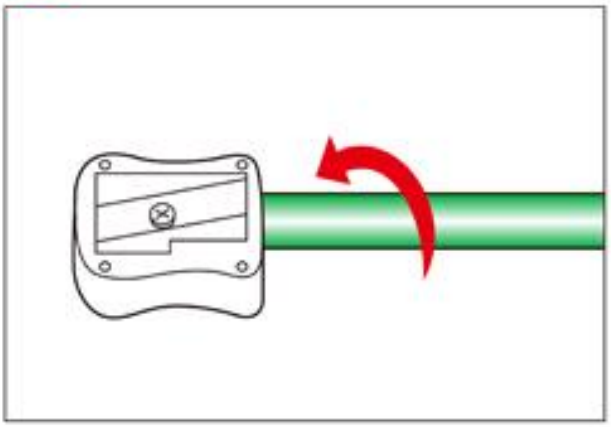
Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

FAQ 削る時に芯が折れる理由

ポケットシャープナーの使い方で、鉛筆が折れる事例をいただくことがあります。ポケットシャープナーは、手軽にお使いいただける製品ではありますが、一枚刃であることや、削るときの安定感がないことから、使い方で芯が折れ易くなる傾向があります。

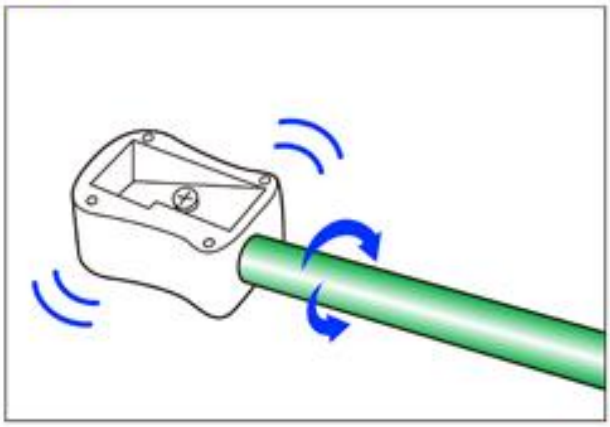
■ポケットシャープナーの使い方

○



鉛筆を軽く真っ直ぐ入れながらゆっくりと鉛筆だけを回して削ってください。

×



ポケットシャープナーと鉛筆の両方を回したり、鉛筆を強く押し込んだりすると、芯に負担がかかり、折れる原因となります。

※ご注意

- 芯をあまり尖らせすぎると、芯が折れる原因となります。特に、色鉛筆は芯がやわらかいため、折れやすくなることがあります。
- ポケットシャープナーの切れ味が悪くなりましたら、新しいものと交換してください。削った木の表面にザラツキ感が出てくると、刃の寿命の目安となります。
- 鉛筆削りでは、鉛筆以外のものを削らないでください。固いものを入れて削ると刃が欠けてしまうことがあります。

Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

FAQ　色鉛筆の落とし方①

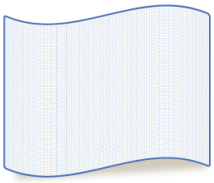
はじめにお読みください

- この「お役立ち情報」に書かれているのは、**一般的な落とし方**です。確実な方法はクリーニング店や補修専門店へのご相談ですが、多くの場合は**薄くなる程度**です。
- ご自身で描線を落す場合は、素材が熱や水で変質しないように、また、ヤケドをしないようにご注意ください。

■ユニカラー、ポリカラー、トイロノ、880など

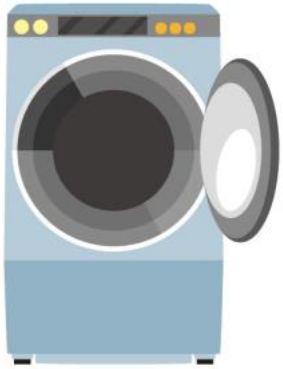
ツルツルした面

乾いた布で拭き取ります。特に、メガネ拭きなどで使われるマイクロファイバー布がお勧めです。



布などのザラザラした面

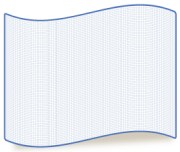
水洗いが可能ならば液体洗剤に漬けて軽く揉み洗いをし、可能ならば温水で洗濯をします。



Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

FAQ　色鉛筆の落とし方②

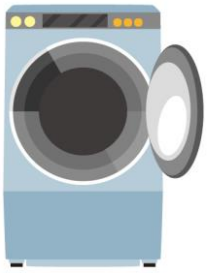
■水性ダーマトグラフ、ウオーターカラー



ツルツルした面

水拭きが有効です。水が使えない場合は、
乾いた布で拭き取ります。特にメガネ拭き
などで使われるマイクロファイバー布がお勧めです。

布などのザラザラした面



水拭きや洗濯をします。

■ポンキー、油性ダーマトグラフ

ツルツルした面

乾いた布で拭き取ります。特に、メガネ拭きなどで使われる
マイクロファイバー布がお勧めです。
落ちにくい場合は、蒸しタオルやドライヤー
などで描線を加温します。

布などのザラザラした面

水洗いが可能ならば、液体洗剤に漬けて軽く揉み洗いをし、
可能ならば温水で洗濯をします。
水洗いができない場合は、蒸しタオルやドライヤーなどで
描線を加温し、タオルなどに写し取ります。この際、色を
面の上に広げない(伸ばさない)ようにします。

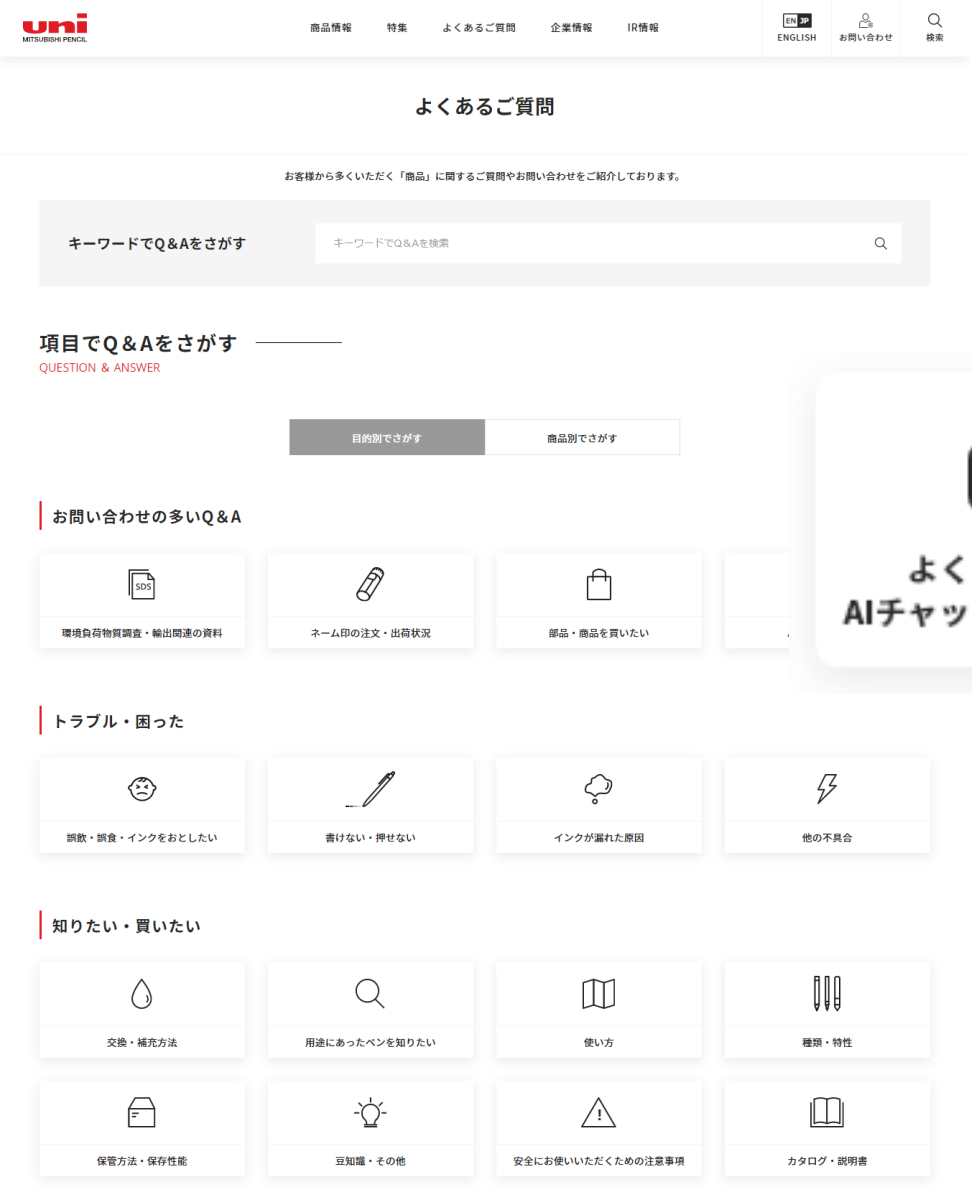
Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved

よくあるご質問サイトのご紹介

多くのお客様に、ご利用いただいております。
こちらも、ご参照ください。

三菱鉛筆　検索　もしくは、

http://www.mpuni.co.jp/customer/



Copyright©2026 Mitsubishi Pencil Company, Ltd. all rights reserved